

一般社団法人埼玉県老人福祉施設協議会中期3ヶ年計画

一般社団法人埼玉県老人福祉施設協議会

計画の意義	法人の前身である埼玉県老人福祉施設協議会は、昭和31年に発足した埼玉県社会福祉協議会養老分科会議を母体として昭和38年に発足した。平成29年度法人格取得に伴い非営利型社団法人としての認知・責任・継続力・信頼性・有益性をすべての会員事業所・施設が共通認識とし、また増進するため、まず、3ヶ年を安定及び将来性の担保とする計画とする。
計画の理念	会員の事業所・施設に対し、常に経営の拠所となる新鮮且つ有益な情報の発信提供を第一義に会員相互の融和と切磋琢磨の旗振り役となる。そのための有力な組織及び安定財務基盤の構築を目指す計画とする。
外部環境	<ul style="list-style-type: none">・現在、埼玉県の福祉の拠点とも言える「彩の国すこやかプラザ」に本部を設置している。将来も現状を望むところであるが、叶わない場合を想定し、予算及び地域性を考慮しつつ、候補地を検討・選定し、会員に諮る。時期は、第1期終了近くから第3期開始を期限としたい。・全国的にも稀な事業者数施設数を最大限生かし、また行動力を養い、第2期以降は、県等からの受託事業（研修等）を実現する。
内部環境	<p>通信手段 会員への通知及び情報の提供等のため、有効な通信手段を構築する。（ホームページの充実・メール等の電子媒体効果的使用）そのために必要な会員への協力要請すること。情報等周知の為には紙による通知も当分の間、必要と思われるが労力・コストの面では是非、推進したい。但し、漏洩等安全も確保する。</p> <p>機動力 研修をより充実させるため、企画力とともに、機材・車両等、購入計画をたてる必要がある。</p> <p>広報 情報発信は、もとより会員間の情報交流・事業所等紹介など積極的に企画したい。現状においては、第1期については、年度内に3回程度の会報作成を予定。</p> <p>資金 埼玉県老人福祉施設協議会は、会員事業所・施設への充実したサービス提供が最大の目的である。その裏付けとなる企画力と資金力が必要となる。「受託事業の獲得」、会員に「法人化して良かった」と思われること。法人化後「老施協は変わった」と評価をえること。それらを実現してこそ会員会費の変更を諮れるものと確信している。</p>
組織	会員サービスの充実のため、広報等、組織の編成も検討してゆく。